

Npop'n

VOL.111

えぬぽっぴん

NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします!

コロナ共存期におけるNPOのミッションとは

今号では、7月30日(土)に開催したシンポジウムの様子をご紹介します。

新型コロナは未だに終息せず、世界を揺るがしています。NPOが取組んでいる問題解決の道筋も、コロナ前とコロナ後では大きく違ってきています。このシンポジウムでは、コロナや種々の問題をめぐって今、社会にどうすることが巻き起こっているのか、またこのような状況下で、NPOは何処に向かって進めばいいのかをパネラー及び参加者の方と意見交換しました。

◆パネラー

安藤 雄太 氏 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)

早田 宰 氏 (早稲田大学 社会科学総合学院 教授)

手塚 明美 氏 (NPO法人 藤沢市民活動推進機構 理事長)

武藤 良太 氏 (トヨタ財団 国内助成グループ グループリーダー プログラムオフィサー)

◆ファシリテーター

山下 馨 氏 (新宿NPOネットワーク協議会 代表理事)

テーマ① 『コロナ禍の社会の中で気づいている新しい課題や問題点・視点とは?』

安藤氏: 助成金の申請が激減した。止む無く活動を中止し、そのまま解散した例も多いが、最近は少しずつ復活してきている。問題解決のために活動する人々を資金面でのサポートをして、団体活動が出来る仕組みを作ることが重要になっている。このような混沌とした状況下で、どう支えていくのか?助成金申請の対応にも変化が求められている。

武藤氏: NPOの存在意義は人と人のつながり。誰かが提供するではなく、みんなで良い社会を作ることであり、資金を出す側も何を応援するのかを考え直すべき時期に来ている。

手塚氏: 新しく活動を始める方も、仕切り直して再スタートする方も増えていると感じている。「今やらなくていつやるのか」という気持ちが強くなっている。

早田氏: 失業、貧困が大きな問題になっている。次世代を担う若者達は、社会貢献活動が、経済活動・企業活動とは違うところに存在価値や意義があることに気付いている。

テーマ② 『国や自治体の政策は、市民の気付きと同じ方向を向いているか?』

手塚氏: いつの時代も、市民が先に問題点に気付く傾向がある。例えば、ボランティア側が、ある情報を出すことで、理解・信頼度が高まることがある。

安藤氏: NPOや市民が行政に物申すという関係が常にある。言うことは言う、一緒にやる時はやるということだと思ふ。

早田氏: 行政には2つの立場がある。1つは地域全体のマネージャーとしての立場、2つ目は1つのアクターとしての立場。NPOは両方うまく付合う必要がある。

武藤氏: 行政とNPOの活動する分野が重なるのなら、その部分は協力するという柔軟性があればいいと思ふ。



安藤氏



武藤氏

山下氏：行政はコロナ禍で、以前より聞く耳を持つようになったのか？それとも逆に厳しくなったのか？

安藤氏：そもそも行政は条例や規則がないと動けない。仕組みをどう作らせるかNPOの役割でもある。

手塚氏：行政の仕組み等を勉強して働きかければ、ドアを開けることが出来る可能性が高い。



手塚氏

テーマ③『NPOや社会貢献活動団体はどういう風に意識を持って目的を立てて行くべきなのか？』

安藤氏：助成金の審査をする側からすると、しっかり運営している団体はたくさんあると感じている。ただ「何のために活動しているのか？」が伝わりにくい場合、申請を受理できない事例もある。NPOは自団体だけでなく、他の団体や地域・人達との関わりも意識すべきだと思う。

手塚氏：NPOの活動は、自己満足的な「自分事ではない」ということをあらためて認識すべき。また、申請書はありのまま正直に書くのが良い。そうすることで、理解・共感も得られる。逆に、そのために必要な情報を公開しないと信用を得られない。

武藤氏：NPOは、組織運営はもちろん大事だが、活動をしっかりしているかが一番重要。団体自身が、何が出来て何が出来ないのかを自己分析する必要がある。すべての活動を自団体でやり切ることが難しく、他団体との連携が必要不可欠。だからこそ自己分析が大切。

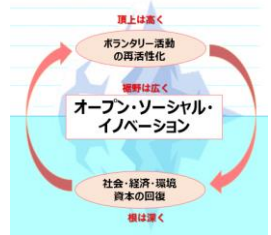
山下氏：課題に気づき始めた人たちがいる。それが、活動になり、社会化されるという流れがある。そういう状況になることを期待しているが、簡単では無い。周りに仲間を作って協力体制を作りあげるのが良いのか？

手塚氏：コロナ禍で、身近な人以外とのつながりができた。オンラインやSNSを活用すれば、遠方の方とも繋がるのが可能になり、以前より議論がまとまるスピードがあがったという面もある。

安藤氏：オンラインを活用することで、経費的な面でも大きな効果があった。NPOが、フルに活用することが重要。自分たちだけの活動では無く、様々な意見に耳を傾け、理解を深めていくことが大事。



早田氏



テーマ④『NPOの社会活動が効果を発揮する課題や仕組みについて』

武藤氏：協力の手法が大事だ。最後のゴールまで全員一緒にというのは無理で、共通の中間的なゴールを見つける技法を身に付ける必要がある。

手塚氏：NPO同士を繋ぐ役割だけでなく、全体を最適化する役割も新たに求められている。

早田氏：NPOが活動を続けるためには、頑張っている人の周りに支える人の育成が大事。

安藤氏：メンバーを固定せず、柔軟に形を変えていく方が良い。継続していくには柔軟性が必要。

早田氏：キーワードは「繋がる」。世の中には多くのプロジェクトがあり、繋がることで、新たな可能性を感じることを「ビッグピクチャー」と呼んでいる。上手く活用出来れば、資金・仲間が集まってくる。

安藤氏：いろんなプロジェクトを把握しているのは中間支援組織。結び付く機会を作るのも重要な役割だと思う。

山下氏：NPOの活動で社会全体が利益を受けていることが、コロナでハッキリした。社会全体でNPOで支える仕組みがあっても良いのでは。

安藤氏：「そうだよね」と思う反面、うっかりすれば危険な発想になりかねない。似た仕組みで休眠預金を受け取った団体が今後、どうなって行くのかを注視している。

手塚氏：会費をゼロにする団体が増えている中、活動を説明して会費を継続的に回収出来る仕組みにすることは大事。

武藤氏：皆がNPOを応援しているという発想は止めるべき。社会を構成するのはNPOだけではない。誰がどういう役割で、どの立場で、何をやるのかを議論出来ると良い。



山下氏



トークセッションの様子①



トークセッションの様子②



ディスカッションの様子③

※HPでこのシンポジウムの内容を全文掲載いたします。 <https://snponet.net>

HPはこちら



《まとめ：大変な状況下で活動をしているNPO団体への励ましの言葉及びアドバイス》

- 手塚氏**：ゆるやかでも良いので、活動を止めないでください。自分の立ち位置を確認しつつ、動き続けてください。周りを見回して、繋がれるところと繋がれる努力をしてください。
- 早田氏**：大きなチャンスが来ている。富士山のように裾野を広げることも、高さを高くする。どちらでもいい。
- 武藤氏**：問題に気付いた人は、一人ぼっちではない。共感・協力してくれる人が必ずいる。声を上げて協力を募ればよい。
- 安藤氏**：少し先を見通して欲しい。その時に、自分たちは何をしたかったのかを問い返し、その中で弱味、強味を話し合う。いろんな価値観を持った人と議論して積み上げるプロセスを欠くことは出来ない。その上できちんと行政にももの申して欲しい。



✧ちよつと気になるNPO団体を紹介します✧ 《 NPO法人 IFMSA-Japan (国際医学生連盟 日本) 》 ～Think Globally, Act Locally～

「国際医学生連盟は、すべての医学生がグローバルヘルスのために団結し、将来の医療において地域、そして世界で活躍出来るリーダーを育成する」ことをVisionとして活動している非営利・非政治の国際NGOです。

♪当センターで行われる「第159回市民とNPOの交流サロン」にご登壇いただきます♪
開催日時：2022年10月13日(木)18時45分～20時45分 ※是非ご参加ください。

参加方法：オンライン(詳細は<https://snponet.net>)
語り手：NPO法人 IFMSA-Japan
参加費：無料

主催・問合せ：新宿NPOネットワーク協議会
【電話】03-5206-6527 【Email】hiroba@s-nponet.net
後援：新宿区

センター利用団体のイベント等の情報

イベント情報は各団体のHP等に掲載されているものを紹介しています。コロナ禍のためイベントが延期や中止になることも考えられますので、詳細については各団体にお問い合わせください。

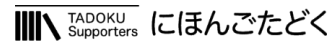
ReBit

第7回「にじいろ子どもの応援団」勉強会&交流会
～園でも！家庭でも！性の多様性に配慮した環境づくり～
【日時】2022年10月2日(日)10時～12時
【参加方法】オンライン(zoom)
【対象者】教職員・保護者など、子どもに関わる大人
【参加費】無料 【申込】HPを参照
【内容】ジェンダーに配慮した園や家庭でできる工夫について
【問合せ】ReBit
【HP】<https://rebitlgbt.org>
【Email】info@rebitlgbt.org



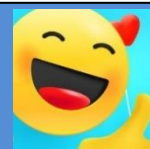
多言語多読

「にほんごたどく オンライン読みもの作成入門講座」
【日時】2022年9月25日(日)16時～19時
2022年11月27日(日)9時～12時
【参加方法】オンライン(zoom)
【対象者】興味をお持ちの方
【参加費】2,200円 【申込】HPを参照
【定員】先着12名
【内容】「多読用読み物」の作り方を学ぶ
【問合せ】多言語多読
【HP】<https://tadoku.org/>
【Email】japanese@tadoku.org



NPOロングラン・フェスタ2022@新宿

～『わっしょい、わっしょい！新たなチャレンジ、始まっています！』～



参加団体募集

◆A部門「レッツ・チャレンジ！プロジェクト・スタートアップ編」

エントリー団体：「神楽坂 commons1st」プロジェクト、「外堀」プロジェクト、「デジタル・プロボノ物語」プロジェクト

◆B部門「仲間を集めよう！活動PR編」

エントリー団体：「拡げよう！子育て・メンタル・シニア支援の輪」

◆R部門「ゴールを目指せ！プロジェクト完結編」

エントリー団体：「ウォーキングもエキセントリックでいこう！」プロジェクト

センターでは、PRに不可欠なプレゼン・短編動画の制作に関するミニ・イベントを用意しています。お気軽にお声がけください。お待ちしております♪

センターからのお知らせ

講座

【マーケティング講座】

～多くの人びとから共感を得るために～

- 【日時】10月20日(木) 18:45～20:45
【内容】社会貢献活動における社会や地域 ニーズの捉え方と事業のつくり方などマーケティング手法を学びます。
【講師】小谷 恵子 氏
(明海大学 経済学部 講師)
【会場】当センター 501会議室
【会場定員】20名
【参加費】1,000円(資料代等)

講座

【ソーシャルビジネス講座】

～地域・社会の課題をビジネス手法で解決！～

- 【日時】10月25日(火) 18:45～20:45
【内容】NPO法人等が社会貢献活動を持続的に進めるために有効な、ソーシャルビジネスとその手法を学びます。
【講師】岡本 圭子 氏
(日本政策金融公庫 新宿支店 課長)
【会場】当センター 501会議室
【会場定員】20名
【参加費】1,000円(資料代等)

交流事業

【NPOにおける資金調達のポイントとは?】

～「お金」の専門家に話を聞いて、NPO活動原資の獲得に役立てよう～

- 【日時】10月15日(土) 13:30～16:30
【内容】融資、助成金、クラウドファンディングなど「お金」の専門家による資金提供事例の紹介、および資金調達上の留意点に関するトーク・セッション。
【会場】当センター 501会議室 【会場限定】20名 【参加費】無料
【パネラー】
篠崎 研一 氏 (第一勧業信用組合 部長)
武藤 良太 氏 (トヨタ財団プログラムオフィサー)
齋藤 智美 氏 (READYFOR株式会社リードキュレータ)

※オンライン受講もあります。詳細はHPにてご確認ください

【申込フォーム】

★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

《オンライン参加用》

《会場参加用》

★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・イベントを延期又は中止する場合がございます。

最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。

【URL: <https://snponet.net/>】



情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318
Email : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>
Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>
Twitter : https://twitter.com/s_npocenter

アクセス

〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)

- 各線 新宿駅 西口より関東バスで「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)
西口地下より標柱番号12・14を上った乗場から出るバス(すべて)
- 各線 高田馬場駅 早稲田口より都バスで「小滝橋(郵便局前)」下車
(乗車時間5分前後) 早稲田口を出て目の前、高架下の乗場

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

- 東京メトロ東西線 落合駅、西武新宿線 下落合駅より徒歩12分
- JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)
編集：嶺村 富士雄 林 幸靖 吉田 定信 月岡 英人 國府田 明子
関根 聡史 太田 美穂子



新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！

センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。